

# カテイラン

感冒を早く治す法  
感冒は萬病の基と云ふ位で感冒そのものは大したことではなくとも、種々の危険な餘病をひき起すものであります。感冒は最初に注意して療養すれば造作なく治る

## 常磐文藝

長詩 木々

蘭 輯生

珍らしく暖い冬の夜亦私は唯一人歩いてゐる左には音もなく川が流れて右には刈り終へた藁が敷多く積まれてある月の光は凄く照りつけてゐる

四邊は寂として

聲だにない。

川岸の櫻樹は

力失せた腕を空にのぼして

再び来る春を待つてゐる木々よ

さぞ前は寂しからう

悲しからう併し

に前はたゞそれ等を

じつとこらへて

すき通る様な青い空に

祈をあげて居る。

木々よ私はこゝへ来るのが好きだ

寂しい自分懐みの中に生

れ生がひのない暗い道を歩いて行く私

のでありますが、こぢらすとなか／＼危険であります感冒と思つたらすぐ發汗劑——アスピリン〇、五または大根卸し益五杯に古生姜同じく一杯をすり込み、一合入りコップに入れ醬油を盃一杯入れて熱湯を注いでよくかきまわし、それを一度に飲み、蒲團を厚くして

私は寂しい時何時もこゝへ来る

そして前と過ぎし日を

思ひ浮かべて空を仰ぐの

だ

何時も高い空！

底知れぬ空！

青く照る空を

(一九二二—二二、二六)

## △土地建物

賣買并ニ是ニ關ス

ル萬般ノ御相談ニ

應ズ

## △床板、床縁

落掛

澤山新荷着

## ◎大谷石 本場一等

品寸法御望次第

## 磐城建物

## 株式會社

平町五丁目

電話五一八番

静かに臥せつて充分發汗した後乾いたタオルで汗を拭ひ、寝巻を着替へ絶對安静をしてゐると、大底の感冒はこれだけでなほります。なにこれ位のことゝ瘦我慢で通そうとするから遂に大袈になつて、時間と費用と心配をかけることになるのであります

## 一冊の代金

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

平町長橋町三五

川崎文庫

(申込次第規則書進呈)

## 製材機械、人魚印丸鋸

自動注油メタル、ブリーリー在庫

ゴムベルト、パラタベルト

平町月見町

佐藤鐵工所

電話三六二番

## ▼外交員募集▲

業務簡易月収百圓以上の収入あり

各自宅に在りて本店との連絡が取れます

御希望の方は履歴書持参の上御來談あれ他に

優遇の方法あり

福島無盡株式會社

平町南町二〇(公會堂角)

電話三三三四番

## 粹で上品な下駄を

御求めの際は

是非

平町二丁目(電話一五六番)

三井モキ店

電話三三三四番

## 株式買中値

左記の値段は本日の標準値

に付御用の節は御問合願候

銘柄 拂込 時價

磐城銀行 五〇〇 五七〇

平銀行 五〇〇 六八〇

磐越銀行 一二五 一〇五

磐城實業 三〇〇 三〇〇

田村實業 一二五 一二五

四倉銀行 一二五 一二五

農工銀行 二〇〇 二六〇

同 新 一五〇 二〇〇

日七銀行 五〇〇 五三〇

同 新 一二五 一四五

七七銀新 一二五 九五

郡山電氣 五〇〇 三三五

同 新 二五〇 一七五

只見川電 一二五 六〇

植田水電 一二五 一三五

好間水電 一二五 一三五

磐城建物 一二五 五五

磐城製菓 二〇〇 六五

平信託 五〇〇 四九〇

磐城物産 一二五 一三五

平製水 二〇〇 二二〇

好間軌道 五〇〇 三五〇

小名商事 一二五 三五〇

小名水産 一二五 三五〇

小田炭礦 二五〇 五五

磐城炭礦 五〇〇 三七五

同 新 二二五 一五〇

磐城セメ 五〇〇 九一〇

同 新 一七五 三七〇

丸登株式會社

平町田町電話三三三番

川添房二郎

福島縣石城郡平町

字長橋町五番地

常磐毎日新聞社



刊夕日十月一

價定 一部金貳錢 月極  
ニ限リ一ヶ月卅錢  
料告廣 五號十三字詰  
一行五十錢  
日刊休 日曜 大祭  
祝日の翌日  
所刷印 福島縣石城郡平町  
田町十六番地  
磐城新聞社印刷部  
發行兼 川崎文治  
印刷人 川崎文治  
所行發 福島縣石城郡平町  
字長橋町五番地  
常磐毎日新聞社

## 惠まれた天職

の尊さ (二)

凍つた夜をの道を意味天  
走りに走る配達少年達の心  
には一刻も速やかに讀者の  
前に本紙を捧げやうとする  
より外に何物もない、夫れ  
は少年達にとつて可成りに  
重い負擔である。前達か  
配達の場合に御苦勞様とか  
或は外に時々慰めの言葉を  
かけて呉れる様な家はある  
か

僕は斯ふ質  
ねて見た事

がある、彼等は異口同意に  
「あります、あります」と叫  
んだ、そして三人の少年が  
敷へ上げた家は卅八軒であ  
つた。僕は其人々を直らに  
備忘録に書き記す事を忘れ  
なかつた、僕としては夫等  
の人々が眞に

僕の事業を  
理解する尊  
い味方であると思つたから  
である。少年達は遊び盛り  
の年頃を家の爲めに幾分  
も、生活の負擔を補へ度  
健康な希望に燃え立つて僅  
かな報酬を楽しみに、毎夕  
の勞働に小さな力をふりし

ぼり  
全く可憐な  
努力を茲に  
傾注するのである、風が吹  
かうが雨が降らうが彼等の  
努力には少しの變りもない  
「常磐毎日新聞」と染め抜  
いた肩上げ附の伴天着を見  
る時に人間としておそらく  
は一人でも、いぢらしい  
感に打たれ  
ぬ者は無い  
事を信じて、毎日少年達  
が配達經過の状況を報告す  
る時、僕は寧ろ新聞の立場  
を離れてその少年達を中心  
とした世相の様々を露骨に  
痛感する事さ出来る(續)

# 敷地の價格決定迄には 多少波瀾を免れぬ

平町役場新築の敷地價格は、本日地主側から伊坂町長に回答あるべき筈であつたが、此稿を締切る(午後二時)迄には未だ何等の回答がない。波瀾は免れぬであらうが、伊坂町長は「坪當り廿五圓」と云ふ値段は第三者の話を聞いても決して安くないとの事であるから地主側に對しては、然る以上には譲歩しない考へである。未だ地主側からの返答には接しないが町の爲めでもあるから多分此値段を容認して買収に應ずる筈と信じて居る」と語つた。

## 平青年團の 御慶事記念

平町青年團にては攝政宮御慶事記念に何等か永久的な

## 景氣の好い職工達

本縣工場課の調査による現在縣下に於ける工場職工の移動は静動であるが震災後二層事業が擴張して來たため従つて労働賃銀も高くなつたので其の懐工合もよくなつて來たこれは主に建築材料方面に従事する者等であつて

## 町制調査會

徴稅方法協議  
平町の町制調査會は本日午前十一時から役場内にて開會徴稅方法の改善其他を協議したが出席者は左の如くである

- 吉田禮次郎、中野甲藏、井上茂作、永山和平、白土四郎、榎田榮太郎

## 海軍志願検査

其數は十八名  
石城郡に於ける海軍志願兵検査は三月六日郡議事堂にて執行の筈であるが本日迄の志願者は十八名あり徴募官は海軍大佐子爵松平保男海軍少佐岡本顯藏兩氏である

來ぬ同會社には職工四百人程居るが震災後前記の如き好状態にして縣下に於いて震災のため事業が擴張されるに至つたのは前記會社の外に品川白煉地株式会社工

湯本町には、現在百五十人の職工が居り一日賃銀二圓より一圓二、三十錢であつて該工場の労働者中にも貯蓄の多いものが居る

## 徒弟表彰

職務勉勵者を  
平署管内理髮業組合にては本日午前十時から帝國館にて春季總會を開催し豫算其他を附議し職務勉勵者及び優良徒弟を表彰したが十町の表彰者は左の如くである  
高木貞雄、鈴木計、坂本豊勝、箱崎廣

## 兒童談話會

開催日時決定  
既報警城中學校辯論部主催の兒童談話會は來る廿日午前九時から郡議事堂にて開催すべく決定した

## 衛生世話役

平町三丁目にては衛生區長及び世話係改選の結果左記の諸氏當選した  
(衛生區長)小島藤左工門  
(世話役)長谷川末吉、鹽崎角藏、阿部源藏、加藤欽一郎

## 小學生徒のシモ豫防

毎日手當を  
平第一、第二兩小學校にては生徒の凍傷豫防の爲め校醫清水賀澤兩氏が主となつて十日から毎日豫防手當を施す由

## 持た頓死男

貯金帳を  
石城郡小名瀨町の百七銀行支店百二號の預金通帳を所持した卅歳位な男が八日茨城縣平瀨町にて通帳には警野喜良とあるので平署に調査方依頼し來つたが百七銀行支店の預金者には前記姓名の者ある住所不明なので取調中

## 不平受付

投書歡迎  
平譯へ注文 譯WCの稍子問題早速實行下すつた學を深く新平譯長に感謝します。處で譯頭の人力車立場は出口の正面に向ひ外來客に變な感じを興へる、適當な位置に移轉出來ませんか。尙ほ廣場に電燈が點いて居ないが何とかして明るくする方法を講じられたい (定期客)

新譯長の答……立場は前任譯長の時代から問題ですから適當な場所があつたら是非移轉したいと思つて居ます。次ぎに電燈は現在立つて居る碑の附近に二百燭の電氣を設備する事になつて居ますから近く貴意を満す事が出來ます

## 眞面目な問題

性慾(舊い)し正  
月經は若い女の徵候である。女が稍熟しかけてから初老に至るまで或る特殊の期間を除いては毎月缺くることのない行事である。大體毎月一回となつて居るが、寧ろ四週間に一回と云ふ方が正しいと云ふ方が正しいらしい。四十週と云ひば二百八十日、即ち舊曆の十個月位の所である。女の身上は太陽よりも月に依つて支配されるのかも知れない。然り、だから女は陰のものであるなど主張しやうと云ふのではない。此の月經は一種の「みそぎ」である。子宮内面を血を以つて洗ひ清めるのである。新しい生命を醗酵するための堂屋を築かんがためので地鎮祭である。新生創業の元始式であるから、之を崇嚴にして荷も之を冒瀆してはならぬ。古來月經時を以て身の穢れとして居るのは誠に謂はれのある事である。此期間を嚴肅に取り扱はせんが爲めに自然が血を以つて戒めたのである

## 常磐片々

郡役所の大垣内技師が先日品の評會に自作の「オート」を「節」なるものを印刷配付した  
「好間人參、飯野は高弱だんよ」と云つた調子  
氣は確かなんですか、しらはくれるにも程がある  
然も慰勞會の席上で憶面もなく唄つたに至つては、どうしても正氣の沙汰と思はれない

## 新副支配人

警城銀行にては這般麻生川顯氏を副支配人に選任せるが更らに預金主任山崎庫太郎氏を副支配人に昇任せしめた同氏は勤続十年勤勉正直殊に事務練達の士を以つて銀行内外より信任厚い人であるので今回此事あるは當然の事であると周囲よりの

## 平町物價

品名	單位	値段
白米	一升	三九〇〇
同	二升	三三八〇〇
同	三升	三七八〇〇
白麥	同	二二〇〇〇

## 平町人事

- 出 生  
△鎌田町 瀧源三三女利江  
△杉平 大細信良二女文子  
△死 亡  
△紺屋町 圓谷芳子(三三)  
△二丁目 酒井善雄(二シ)

## 優良馬鈴薯

種子共同購入	本縣農會にては優良馬鈴薯を縣民に普及せしむる爲め	
神奈川縣保土ヶ谷町産種子	の共同購入を申込み播種せしむる筈だが希望者は直接本縣農會宛に申込み度し	
平麥	同	一貫八
味噌(並)	同	一貫七
醬油(並)	同	一貫六
清酒(並)	同	一貫五
木炭(樽九)	一貫四	三四〇〇
同(樽割)	同	三四〇〇
同(雜丸)	同	三四〇〇
砂糖(白)	同	二二〇〇
砂糖(赤)	同	一九〇〇
豚上肉	同	一七〇〇
同並肉	同	一六〇〇
牛上肉	同	一六〇〇
牛並肉	同	一六〇〇